| 事 未/// 口 | | 元重ケーク ころ 吹むのうへん | | | | 又版プログラム (成体反子) 「グ ピス) | | | 1199 | , H | 0 + | 5 73 | 30 H |
|---|-----------------|---|--------------|--------------|----------|-----------------------|---------------------|--|----------|-----|-----|------|------|
| 法人(事業所)理念 様々な体験を通して、安心と喜びのあるより良い日常に貢献し児童・ご家族さんが素敵な笑顔で過ごせるように、最良の支援を提供する | | | | | | | | | | | | | |
| 楽しく、安心して過ごせる場所を提供するとともに、様々な経験を積むことで各々の持っている可能性を引き出し、心身ともに成 支援方針 | | | | | | | | 或長を促せ [.] | るよう支援します | | | | |
| | 営業時間 | | 9 | 時 | 0 分から | 1 <mark>7</mark> 時 | <mark>30</mark> 分まで | 送迎実施の有無 | あり | なし | | | |
| 支援内容 | | | | | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ①健康状態の把握…障害の特性及び発達の過程・特性等に配慮して小さなサインから心身の異変に気付けるよう、きめ細かな観察を行う ②健康の増進…睡眠・食事等生活のリズムを身に付けられるよう支援、食を営む力の育成に努める、咀嚼、嚥下、姿勢保持等への支援、病気の予防や安全への配慮 ③ポジショニング・マッサージ…身体の変形・拘縮予防に努め、ポジショニングやマッサージに取り組む ④入浴支援…希望があれば行う。入浴を行うことで、清潔の保持、心身のリラクゼーション効果や筋緊張を軽減していく | | | | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | ①保有する感覚の活用…保有する視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるよう遊びを通して支援。シーツブランコ、風船遊び、感触遊びなど。普段体験することのない揺れや刺激を 行い「身体意識」を育む。また感覚過敏・鈍麻のある子どもたちに合わせて過ごしやすい環境を整える。 ②姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用…姿勢保持装置等、補助的手段を活用して姿勢保持に努め、集中して活動に参加できるように工夫して、その時の子供の表情や仕草等観察しながら、一人一人に合った支援の方法で活動を提供する。月に1~2回アロマオイルマッサージの先生が来てくれる。 | | | | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | ①感覚や認知の活用…視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分活用して、様々な体験や遊びから色・形・重さ・柔らかさ等の感覚を養い、認知機能の発達を促す支援を行う。絵本の読み聞かせや音が鳴る・光など、子どもたちに理解しやすい刺激を織りこむ。 ②外部環境からの刺激…散歩や外出にて屋内と屋外、景色の変化や風や匂いから、個々の持ってる感覚で最大限に季節や環境を感じて「快」「不快」の表出を促していく ③積み重ねの活動…意思表示の困難さに配慮して子供の小さなサインを読み取り、興味や関心を持った体験的活動を積み重ねていけるように支援する | | | | | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | いく。お集まり ②コミニュケ・ | りでは名 ーション | 前を呼ん ツールや | だり、季節のうた | tを歌ったりとお rに合ったコミニ | 友達ともコミュニ | って、自分の外からの刺 ニケーションを図る。 双り方を探り、細かな観 | | | | | |

<mark>児童ディサービス 咲心おろく店</mark> 支援プログラム(放課後等デイサービス)

6年 月 20日

作成日

| | 家族支援 | ①家族からの相談に対する適切な助言や支援、家族の負担を軽減していくための物理的、心理的支援…定期的な支援会議や計画の調整、関係者・関係機関の連携による支援体制の構築を図る ②家族間の交流…定期的な保護者会の開催 | | ①就学に向けての関係機関との情報共有を行う |
|---|------------------|--|--------------------|--|
| į | 地域支援・地域連携 | ①地域でのネットワークの構築…併用他事業所や地域の保育園等との交流、また地域の小中学校の職場体験の受け入れ ②関係する支援機関との連携…地域の中で安心して暮らせるように支援する | 職員の質の向 F | ①虐待防止・身体拘束適正化・感染予防・救急法等研修 ②医療ケア児等支援者養成研修 ③その他研修、法人内での勉強会や職種間でのミーティング |
| | | | - 1944人 (百秋) フェン・- | (実動人はは1人口) |

②集団遊びの活用…お友達の輪の中で過ごすことで、お友達を意識するようになったり相手を想う気持ちを引き出す声掛けをしていく。集団での療育を通して一緒にやってみよう、一緒に

「誕生会・夏祭り・ブール遊び・ハロウィンパーティー・クリスマス会・マルシェ・運動会(夏祭り・マルシェ・運動会は法人合同)

①他者との関わりの形成…職員と沢山触れ合い、声掛け、その反応から信頼関係を構築出来るように支援していく

・音楽療法士による音楽の時間 主な行事等

頑張ろうという気持ちを促していく。

事業所名

人間関係 社会性